

陶芸家・川瀬忍個展 「Mastery of Celadon」 色茶碗、約40点を展示



陶芸作家・川瀬忍の個展「Mastery of Celadon」が、11月3日から始まり、12月20日(月)まで、アムステルダム・セントサイドの画廊「Mirviss」で開催される。

青磁のイメージを打ち破る、さまざまな色の茶碗を中心に、約40点を展示。中国宋時代の青磁の魅力に憧れ、この世界に入り50年という

川瀬忍。今回は7年ぶりのニューヨーク個展だ。巨匠が創る繊細で優美な作品を手にとり見て、感銘を受ける。

■11月3日(水)～12月20日(月)
※来場予約不要、平日 11:00am-5:00pm
■会場: Joan B. Mirviss Ltd
39 E. 78th St. # 401
■問合せ: TEL: 212-799-4021
info@mirviss.com
www.mirviss.com



老女キセル図コーヒークップ (明治時代)

今回の展示では、「Mirviss」と呼ばれた前半と、アメリカン・アートで後半に分けて、その変遷をたどる。

現代日本を代表する最高の金属芸術品を集めた展示「金属の永遠の美」(Metal Beauty of Meiji)が、東66丁目「アモリ」(Amory)で開催される。今年で10周年を迎える「アモリ」展に、加するもので、同名の展示は3月にオランダの大西ギャラリーで開催。この時は作品紹介がなかったが、

■11月18日(木)～12月29日(水)
■会場: 日本クラブ WEB ギャラリー
https://nippongallery.nipponclub.org
■オープニングレセプション(無料・要登録):
11月18日(木) 7:00～8:00pm
■登録リンク: www.nipponclub.org
または https://bit.ly/3k6pJcC
■問合せ: 日本クラブ gallery@nipponclub.org

日本クラブWEBギャラリー 「オールド・ノリタケ 美の架け橋」展

日本クラブWEB ギャラリー、11月18日(木)から12月29日(水)まで、「オールド・ノリタケ美の架け橋」展が開催される。監督は、日本を代表する輸出陶磁器の研究者・共谷善恵(よし恵)博士(東京藝術大学特任教授)。明治以降、社会が劇的に変化する中で、

現在もアメリカでは「Jippon」と呼ばれ、美術品として珍重されている。

合衆国政府からの通達で、原産地表記が「Jippon」に変更されるようになったのは、1920年頃からだ。当時米国民は自分たちオランダのアメリカーナ(アメリカン)の魅力を気づけ、日本の輸出磁器も徐々にアメリカン・アートと意識するようになった。

自分たちオランダのアメリカーナ(アメリカン)の魅力を気づけ、日本の輸出磁器も徐々にアメリカン・アートと意識するようになった。

パイヤル・オープンニングレセプション
11月18日(木)午後7時から8時まで、バーモント・オープンニングレセプションが開催。展示会の監督者である共谷博士が、「近代日本輸出磁器の煌めき」と題した講演を行うほか、邦楽演奏家の麻生花帆氏に、能や歌舞伎で使われる小鼓やお囃子について話を聞く。

大西ギャラリー 「サロン+デザイン」展 人間国宝含む作品群



玉川寛夫 MOKUME-GANE VASE 050,1996

今回はインテリアデザイン、建築、家具に特化した、モダンなヨーロッパの現代家具と日本の伝統工芸を、展示は金銀、プラチナ、銅、銀で作られた食器、雑器類が主で、彫刻、銅造、象嵌など卓越した日本の技術と西洋の美の融合を見る事ができる。

今回はインテリアデザイン、建築、家具に特化した、モダンなヨーロッパの現代家具と日本の伝統工芸を、展示は金銀、プラチナ、銅、銀で作られた食器、雑器類が主で、彫刻、銅造、象嵌など卓越した日本の技術と西洋の美の融合を見る事ができる。

はオンラインでの鑑賞も可能
▼参加作家(順不同)
大角幸枝 家出隆浩、中川徹、佐藤龍平、押山元子、玉川宣夫、鼻春斎、般若、保大樹昌子、奥山峰石、魚住為樂、田盛仁、富田亮平、中輝和、田口壽恒

■11月11日(木)～15日(月)
■会場: Park Avenue Armory
643 Park Avenue
■11日～15日の通しチケット \$200
■12日～15日(各日): 一般 \$30、学生 \$10
■12日～15日の通しチケット \$60
■Tel: 212-616-3930
■www.armoryonpark.org



新宮大史・個展 立体的でカラフルな作風

アーティスト新宮大史(しんぐう・たし)の個展「On the Edge」が、11月16日から12月12日(日)まで、チェルシー地区のカフェ・グランプイで開催される。

立体感を感じさせる作品がありながら、カラフルな作風が特徴だ。

■11月16日(火)～12月12日(日)
■会場: Cafe Grumpy Chelsea
224 W. 20th St.
■TEL: 212-255-5511
cafegrumpy.com/locations/chelsea

フレンズアカデミー Japanese Children's Society
バイリンガルを目指す
子ども達のために
一人一人に合わせた学習内容で
着実に力を付けていきます。

★親子の日本語教室
★幼児教室
★日本語の基礎教室
★国語教室
★ウィークエンドスクール(土曜と日曜)
★季節のプログラム
★ピアノレッスン

対面保育・授業
実施中

Tel: 212-935-8535
310 West 103rd Street New York, NY 10025
friends.nyikuei@gmail.com www.japaneseschool.org

TEAS' TEA ORGANIC

ONLY THE PUREST TEA™

\$150で
起業してみませんか?
Help Wanted
ビジネスパートナー探してます
まずはご連絡ください(高木)
studiot529@gmail.com

よみ 946
次号は11月26日(金)号
イベント情報提供は
info@yomitime.com まで



更井 真理 SARAI MARI

写真家・出身：奈良県



★写真との出会い

写真の勉強を本格的に始めたのは渡米後で、サンタモニカ大学で学びました。ある映画監督に「写真を勉強してみたら？」と勧められたのが進学のきっかけです。それ以前には、カメラとの関わりは殆どありません。ただひとつだけ、日本に居た時に写真に興味を持ったきっかけとなる出来事がありました。ローカル電車で中学時代の友達と鉢合わせ、お互いの近況報告をしたのですが、彼女が通学していた写真学校の話や撮影した課題作品を見て、写真の世界に興味が高まりました。その後勉強を始め、自分が切り撮る絵(構図)が、他の人とはまるで違うこ

とに気がつき、やっと自分の得意分野が見つかった…それがとても嬉しかったことを覚えています。

★撮影のテクニック

撮ること、現像すること、暗室でプリントすること、全てが大好き。人物であれば動きの中から「一瞬」を切り撮るのですが、被写体が「いつも見せない素顔」を引き出すのが得意です。心理的なアプローチを仕掛け、被写体のすべてを支配・理解し、自分のコントロール下で撮影しています。「その線」を張り巡らせば、自分の思いのままに撮影出来る。そして自分の想像を超える「何歩か先の境地」に至る写真を撮ることを目指しています。

★映像と写真の違い

写真だけでなく映像も撮っていますが、それぞれプロセスは大きく異なるものの、「自分の人間像と世界観を投影できる」というクリエイティビティに変わりはありません。もともと動きのある写真が好きだったので、私の写真は「静」よりも「動」を感じるものが多い。いずれの方法を用いても、私が追求しているものは常に「自分の世界観」。瞬間を切り撮り、エネルギーを感じさせられる世界です。

★ニューヨークの印象

90年代に2年ほど、フォトジャーナリストとしてNYに住んでいました。以前からNYは好きな街でしたが、アメリカはそんなに好きではなかった。ロンドン生活が長かったので、ロンドン・イギリスの方が優れていると初めは思っていました。NYに移住後、時間は掛かりましたが、新型コロナウイルスに対する政府の対応や、NY市、ニューヨーカーの底力を垣間見て、強い街、国、人々なんだなと感銘を受けました。仕事に関しても、NYは世界のトップがひしめく場所。頂点の下には無数無限の人々が研鑽を積んでいます。マーケットが大きく、キャリアのレベルは何層にも折り重なり、次のレベルにどんどんチャレンジ出来る、自分次第で、いくらでも世界が広がる場所だと感じています。

★目指すもの

写真もさることながら、もっと映像を撮りたいですね。そして「その場所」、「その時」、「その瞬間」にしか存在しないモノ、新たなストリートフォトグラフィー (Street Photography) のスタイルで、新しいプロジェクトを展開していきたいです。

★今後の予定

12月7日から12日まで、東京で開催されるグループ展にフォトグラファーとして参加します。詳細はSNSなどで発信していきますので、ご覧ください。

CONTACT

- photo@saraimari.com
- www.saraimari.com
- instagram.com/SARAIMARI724



パペット&ビデオアート 「9000のペーパー・バルーンズ」

オフオフ・プロドゥエーションが、11月2日(火)から始まり、12月31日(金)までオンライン配信されている、公演は日米バイリンガル。字幕付き。チケット購入後は、配信期間中何度でもオンデマンド視聴が可能。「9000のペーパー・バルーンズ」は、パトリイ操り人形とアート、ビデオアートを混合したオンラインパフォーマンス。

第二世界大戦終盤、日本軍は和紙と紙を糊で作り上げた「風船爆弾」を製造、1944年11月から翌年3月まで約9000個が米本土に放球された。この作品は、この嘘のような空の話を船爆弾にまつわる日米のエピソードを振り返りながら、国の違い、世代の違い、または物理的な距離のために生まれる人間の隔たりに対して、人間らしい温かみのあるアプローチを問う。

菊地と豆下は、最初大きな爆弾の威力がドカーンと感じられるような作品を作ろうとしていたんです。でも作っているうちに、自身も身体的な線に触れるべき作品だと気付きました。自分たちの「おじいちゃん」の会話を通して、個人的な記憶を通して、色々な意味での隔たりを崩せる作品にできればいいと思います」と語る。

アートでもある菊地のパトリイは、子ども向けパペットショーとは線を画す。幻想的でシュール、時々ニヤリとさせられる作品に仕上がっている。ロケットのパトリイは綿密、繊細で愛らしさ、クロージングで見ることに引き込まれる。その細かな演技に驚かされる。アヤ・オカワによるビデオと舞台芸術を巧みに融合させた演出で、オンラインパフォーマンスとして新しい表現を確立している。

- 12月31日(金)まで
 - オンライン配信
 - チケット：希望額支払い (\$10~50)
 - チケット予約：
https://here.org/shows/9000-paper-balloons
- ※購入後は配信期間中、何度でもオン・デマンド視聴可能

ガンとの共存と自然治癒への道

- ショウガ温湿布療法
- 血液浄化と血行促進
- 玄米菜食・粉ミルク断食・納豆おしじや
- 三井式遠赤外線温熱療法
- 笑いは百薬の長なり

笑って笑って心の暗雲を飛ばせ!

718-268-4956

能ウエビナー 味方玄氏迎え「巴」を題材に

三丁ヨシで能と狂言の普及を手がける非営利芸術団体「能ソサエティ」が11月22日(月) 観世流シテ方能楽師・味方玄氏を迎え、エビナー・能「巴」ひとつの愛のかたちを開催する。参加は無料。要登録。昨年9月、矢来能楽堂で開催された東京公演の内容を基にシテ(主役)の動きや譜を手に、巴の心情や場面の背景を味方氏が解説する。通訳と字幕による日英対訳。

■11月22日(月) 8:00pm

■ZOOM開催

■参加無料、要登録：以下から
https://tomoe2021.peatix.com

■問合せ：info@nohsociety.org

■能ソサエティ HP：
www.nohsociety.org



ドラマを描いた演目「巴」の義仲への描きこみ、忠誠心と情愛をこめて執心、戦乱の世に翻弄されながらも、主君との絆を途に信じ、毅然と運命に立ち向かい、生き抜く一人の女性の姿が描かれています。